

2023. 7. 24

2023年7月の金融経済概況のポイント

■景気の基調判断

- 今月の基調判断は、「緩やかに持ち直している」と、前回と同様の判断です。13か月連続の判断据え置きとしました。
- 需要項目ごとの判断は、観光について、「着実に持ち直している」と上方修正しました。ただ、修正の程度としては小幅であり、現段階では基調判断を変更するほどではないと考えています。その他の項目には変更はありません。
- 雇用についても前回と同じ判断です。対面型サービス業を中心に人手不足感は強く、労働需給は、全体として緩やかに改善しているとみています。

■個人消費の動向

- 大型店売上高は、6月、2か月振りに前年を上回りました。衣料品は、外出や旅行需要の回復を受け、持ち直しが続きました。食料品は、値上げによる購入単価の上昇がみられた一方、節約志向の強まりによる買い上げ点数の減少など、弱い動きもみられました。大規模店舗では、来店客数が前年を上回り、売上は堅調に推移しました。また、家電販売は、需要一巡からエアコンの販売が大幅に減少するなど、全体でも弱めの動きとなっています。
- 新車登録台数は、6月、軽自動車の前年を下回ったものの、除く軽が前年を上回ったことから、合計でも前年を上回りました。合計は、6か月連続の前年比プラスです。メーカーからの完成車供給は、半導体不足や部品不足といった供給制約が和らいだこと等により、引き続き、改善がみられています。

一方、販売地合いは、弱めの動きとなっています。新型車の受注は好調

ですが、人気車種の納期の長期化やモデルチェンジ前などを理由とした新規受注の停止がある程度影響しているもようです。こうした中で、受注残はこれまでの蓄積もあり、高水準で推移しています。

■観光の動向

- 道北4空港（旭川、稚内、女満別、紋別）の旅客数をみると、6月、稚内が前年を下回ったものの、他の3空港で前年を上回ったことから、全体でも前年を上回りました。6月まで21か月連続の前年比プラスです。コロナ前の2019年水準を下回っていますが、旅客数は回復が続いています。この間、旭川空港の国際線は、6月、定期便の運行があったことから、ゼロだった前年を上回りました。
- ホテル・旅館宿泊客数は、6月、前年を上回りました。全体としてコロナ前の2019年を下回っていますが、旅行需要が回復する中、インバウンドの回復や「全国旅行支援」による下支えもあって、着実に持ち直しています。旭川市内のホテル客室稼働率は、6月、前年を上回りました。こちらもコロナ前の2019年の水準を下回っていますが、着実に持ち直しています。
- 各地観光施設の入込みは、6月は、旭山動物園、層雲峡、博物館網走監獄、利尻・礼文フェリー、ウトロ温泉とも前年を上回ったことから、合計でも前年を上回りました。引き続き、コロナ前の2019年の水準を下回っていますが、観光需要の回復を受けて、着実に持ち直しています。

■公共投資の動向

- 上川、宗谷、オホーツクの3総合振興局における公共工事請負金額は、6月、上川、宗谷が前年を幾分上回ったものの、オホーツクが前年を大きく下回ったことから、全体でも前年を下回りました。2023年4月以降の累計では、宗谷が前年を上回ったほか、オホーツクが前年並みとなった

ものの、ウェイトの大きい上川が前年を下回ったことから、全体でも前年を下回りました。

■住宅着工

- 新設住宅着工戸数は、5月、持家、貸家、分譲とも前年を下回ったものの、給与住宅が前年を大きく上回ったことから、全体でも前年を上回りました。月によって振れはありますが、基調としては、持家が減少している一方、貸家は低水準となっており、分譲は横這い圏内の動きとなっています。

■雇用

- 労働需給は、緩やかに改善しています。有効求人倍率は、5月、稚内が前年を上回ったものの、旭川、北見、網走で前年を下回りました。稚内、北見、網走が1倍を上回ったものの、旭川が1倍を下回り、全体でも1倍を下回りました。1倍割れは、25か月振りです。新規求人数は、5月、旭川、稚内、北見、網走の全てで前年を下回ったことから、4つの職業安定所の合計でも前年を下回りました。

■今後のポイント

- 当面は、値上げが続くもとでも、消費が底堅く推移すると見込まれるほか、観光もインバウンドや国内客の着実な回復もあって、全体として持ち直していくとみられます。ただし、物価上昇が続くもとで消費者の節約志向が一段と強まる可能性や、対面型サービス業における人手不足の影響など、引き続き、下押しリスクがある点には留意が必要です。

今後、道北地域の経済をみていく上でのポイントとしては、①夏場のハイシーズン入りで需要拡大が期待される観光の動向、②物価上昇が消費者行動や企業収益等に与える影響、③対面型サービス業等における人

手不足の影響、について注意を払いたいと思います。

以 上